

安全データシート

整理番号: SDS003-02

改訂日: 2021年9月9日

1. 化学品（製品）及び会社情報

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 製品名 | IFCC 血清 CRP 国際標準品 (DA474) |
| SDSNo. | SDS003R3 |
| 会社名 | 一般社団法人 検査医学標準物質機構 |
| 住所 | 神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町 1050-35 |
| 電話番号 | 045-507-6145 |
| FAX 番号 | 045-530-9036 |
| 電子メールアドレス | cont@reccs.net |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 臨床検査用標準物質、 <i>IN VITRO</i> USE ONLY |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | |
|-----------|--|
| 物理化学的危険性 | 分類対象外 |
| 自己反応性化学品 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 分類できない |
| GHS ラベル要素 | |
| 絵表示又はシンボル | 該当しない |
| 注意喚起語 | 該当しない |
| 危険有害性情報 | 該当しない |
| 注意書き | 該当しない |
| 他の危険有害性 | 情報なし |
| 安全対策 | 環境への放出を避けること 眼、皮膚、衣類につけないこと 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと 保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること 当該製品を使用するとき飲食または喫煙をしないこと |

3. 組成及び成分情報

| 単一製品・混合物の区別 | 混合物 | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|-------|------|-----|----------|--------------|---|-----|-----------|-----|--------|-----|
| 成分及び含有量 | <table border="1"> <thead> <tr> <th><成分></th> <th><含有量></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヒト血清</td> <td>非公開</td> </tr> <tr> <td>アジ化ナトリウム</td> <td>0.095% (w/w)</td> </tr> <tr> <td>4-(2-hydroxyethyl)- 1- piperazineethane sulfonic acid</td> <td>非公開</td> </tr> <tr> <td>ベンズアジン塩酸塩</td> <td>非公開</td> </tr> <tr> <td>アプロチニン</td> <td>非公開</td> </tr> </tbody> </table> | <成分> | <含有量> | ヒト血清 | 非公開 | アジ化ナトリウム | 0.095% (w/w) | 4-(2-hydroxyethyl)- 1- piperazineethane sulfonic acid | 非公開 | ベンズアジン塩酸塩 | 非公開 | アプロチニン | 非公開 |
| <成分> | <含有量> | | | | | | | | | | | | |
| ヒト血清 | 非公開 | | | | | | | | | | | | |
| アジ化ナトリウム | 0.095% (w/w) | | | | | | | | | | | | |
| 4-(2-hydroxyethyl)- 1- piperazineethane sulfonic acid | 非公開 | | | | | | | | | | | | |
| ベンズアジン塩酸塩 | 非公開 | | | | | | | | | | | | |
| アプロチニン | 非公開 | | | | | | | | | | | | |

<アジ化ナトリウムについて>

| | |
|--------|------------------|
| 化学物質 | |
| 成分名 | アジ化ナトリウム |
| 化学式 | NaN ₃ |
| 化審法番号 | 1-482 |
| CASNo. | 26628-22-8 |
| MW | 65.01 |

| | |
|---|--|
| 化管 (PRTR) 法 化管法政令番号 EC 番号 | 化管法第 1 種 1-011 247-852-1 |
| 4. 応急措置 | |
| 暴露経路による応急処置 吸入した場合 | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪いときは医師に連絡する。 |
| 皮膚に付着した場合 | 付着部又は接触部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、医師の手当てを受ける。 |
| 目に入った場合 | 直ちに水で十分洗眼する。コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる時は外すこと。その後も洗浄を続ける。異常があれば医師の手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 予想される急性症状 遅発性症状、最も重要な兆候・症状 医師に対する特別な注意事項 | 水でよく口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 情報なし 情報なし 0.095 %アジ化ナトリウム含有 |
| 5. 火災時の措置 | |
| 適切な消火剤 | 当該製品は不燃性のため、一般火災に準ずる。水などを用いる消火剤は使用できる。 |
| 使ってはならない消火剤 | なし |
| 特有の危険有害性 | 情報なし |
| 特有の消化方法 | 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを規制する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。安全な距離から散水して冷却する。防火服/防災服/耐火服を着用する。 |
| 消火を行う者の保護 | 耐熱手袋/保護面を着用する。 |
| 6. 漏出時の措置 | |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 | 作業の際には適切な保護具を着用する。少量の場合は水拭きし、多量の場合は、多量の水で十分に希釈して洗い流す。 |
| 環境に対する注意事項 | 当該製品を多量に含んだ排水が、上水源、河川、湖沼、地下水等に漏出しないようにする。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 二次災害の防止策 | 漏出物を容器に回収する。 漏出物を回収する。 |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | |
| 取扱いに関する安全取扱い注意事項 | 点眼・服用・注射は絶対に行わないこと。 当該製品はヒト由来で特に病原菌等は検出されていないが、感染の危険があるものとして十分注意をして取扱うこと。 皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用する。 |
| 保管条件 混触禁止物質 | 冷凍庫内 (-70 °C以下) で保管する。 情報なし |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|------------|---|
| 管理指標 | |
| 管理濃度 | 設定されていない |
| 許容濃度 | 設定されていない |
| 暴露防止 | |
| 設備対策 | 手洗い/洗顔設備を設ける。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器用保護具 | 必要なし |
| 手の保護具 | 必要に応じて保護手袋 |
| 眼の保護具 | 必要に応じて保護眼鏡/顔面保護具 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じて保護衣 |
| 衛生対策 | 眼、皮膚、衣類につけないこと。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 当該製品を使用する時に飲食及び喫煙をしないこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------------------------|---------------------|
| 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報 | |
| 物理的状态 | |
| 外観 | 白色～淡黄色冷凍品 |
| 臭い | 微臭 |
| 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲 | |
| 融点・凝固点 | 該当しない |
| 蒸発速度 | データなし |
| 引火点 | 該当しない (水溶液) |
| 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 | 該当しない |
| 自然発火温度 | 該当しない |
| 爆発特性 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度 | データなし |
| 比重/密度 | データなし |
| n-オクタノール/水分配係数 (アジ化ナトリウム) | $\log Pow \leq 0.3$ |
| 分解温度 | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 化学的安定性 | 通常の保存条件/取扱い条件 (−70°C以下) において1年間安定である。 |
| 反応性 | 通常の取り扱い条件下で安定 |
| 危険有害反応可能性 | 通常の取り扱い条件下では危険有害反応を起こさない。 |
| 避けるべき条件 | 高温 |
| 混触危険物質 | 特になし |
| 危険有害な分解生成物 | 窒素酸化物、アジ化水素 |

11. 有害性情報

| | |
|--------------|---|
| 毒性学的影響に関する情報 | 当該製品は、保存料としてアジ化ナトリウムが0.095%(w/w)含有されている混合物であるが、毒性学的影響に関する情報はない。 以下にアジ化ナトリウムの情報を記載する。 |
|--------------|---|

| | |
|----------------------------|---------------------------------------|
| 急性毒性 | |
| 経口（日本公表根拠データ） | rat LD50=45 mg/kg（DFGOT vol.20, 2003） |
| 経皮（日本公表根拠データ） | rabbit LD50=20 mg/kg（ACGIH, 2001） |
| 局所効果 | |
| 皮膚腐食性・刺激性（日本公表根拠データ） | ラビット・腐食性（DFGOT vol.20, 2003） |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性 | 区分1（皮膚腐食性が区分1による） |
| 呼吸器感受性又は皮膚感受性 | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 催奇形性 | データなし |
| 発がん性 | ACGIH-A4（1992） |
| 生殖毒性 | データなし |
| 短期暴露による即時影響、長期暴露による遅延/慢性影響 | |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 区分1 |
| 特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露） | 区分1 |
| 吸引性呼吸器有害性 | データなし |

1 2. 環境影響情報

| | |
|-----------|---------------|
| 生態毒性 | |
| 水生毒性 | 毒性は低いと推測される。 |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生物蓄積性 | 蓄積性は低いと推測される。 |
| 土壤中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | 該当しない |

1 3. 廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 廃棄物の処理方法 | 環境への放出を避ける。 廃棄物に関する規則に従って産業廃棄物として廃棄する。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。 地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 |
|----------|---|

1 4. 輸送上の注意

| | |
|---------------|--|
| 国際規制 | |
| 国連番号、国連分類 | 該当しない |
| 環境有害性 | |
| 海洋汚染物質、緊急有害性 | 該当しない |
| 海洋汚染物質、長期間有害性 | 該当しない |
| 国内規制 | 該当しない |
| 注意事項 | 冷凍保管し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、粗暴な取扱いをしないこと。 |

1 5. 適用法令

| | |
|-----|-------|
| 毒劇法 | 該当しない |
| 安衛法 | 該当しない |
| 化管法 | 該当しない |

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7253

事業者向け GHS 分類ガイダンス（経済産業省）

【注意】

注意事項は通常の実施を前提としたものであって特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱っていただくための情報を提供するためのものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

この安全データシートは調査して記載しましたが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分に注意して下さい。
